

令和5年度第1回阪神西部（武庫川流域圏）・阪神東部（猪名川流域圏）
地域総合治水推進協議会
議事概要

■日時：令和5年12月4日（月）14：00～16：00

■場所：尼崎市中小企業センター 1F 多目的ホール

■出席者：協議会委員 29名（内Web出席者3名）

■議事

1. 阪神西部・阪神東部地域における取組み実績と総合治水対策を進める上での課題と対応の方向性（案）
2. 計画改定の方向性、スケジュール

■配布資料

- ・議事次第、出席者名簿、配置図
- ・資料1 兵庫県における総合治水の取組み
- ・資料2 国の流域治水の取組み
- ・資料3-1 阪神西部（武庫川流域圏）地域における取組み実績
- ・資料3-2 阪神東部（猪名川流域圏）地域における取組み実績
- ・資料4 総合治水対策を進める上での課題と対応の方向性（案）
- ・資料5 計画改定の方向性、スケジュール
- ・資料6 防災気象情報の改善に係る取組みについて
- ・参考資料1 地域総合治水推進協議会 設置要綱及び公開要領
- ・参考資料2 地域総合治水推進計画
- ・参考資料3 フォローアップシート
- ・参考資料4 総合治水条例の概要（パンフレット）
- ・参考資料5 みんなでとりくもう！「総合治水」パンフレット

■意見交換

宇津委員

- ・「ながす」、「ためる」、「そなえる」のためる量や流す量はどのように設定されているのか。
- ・パリ協定が遵守されていなければ、5年後、20年後、30年後には気温が4℃程度上昇し、大雨の件数が今の約3倍に増えると言われている。100年、1,000年に1回ぐらいの大雨でも大丈夫な計画をしていただけないか。
- ・地下に大きなダムやトンネルをつくり水をためるなど、費用はかかるがよろしくお願ひしたい。最近の気象状況では想定外の大雨が降り、人が死ぬことがあれば悔いが残ると思われるため、よろしくお願ひしたい。

事務局

河川の整備は河川整備計画を策定し、それに基づき整備を進めている。河川整備計画の対象としている雨は、将来増えると思われる雨より小さい雨を対象としており、まずは、河川整備計画の目標を着実に達成していくことが必要と考えている。次の段階の計画では気候変動も考慮して目標を立てていきたいと考えている。河川の整備はいきなり想定最大降雨といった大きな雨に対しての整備というよりは、段階的に治水安全度を上げていく整備を考えている。

仲間委員

- ・田んぼダムのためにせき板を4万枚配布したとのことですが、どのような結果が得られたのか、運用上の課題についてもお聞かせ下さい。

事務局

せき板は県下で4万枚程度配布しているが、配布したせき板を必ず使用されているかどうかということは把握できていない。また、何か問題があるかどうかについても把握していない状況である。

大石会長

宇津委員、仲間委員からの意見は、対策の効果量の算出、将来の気候変動に伴う降雨の激甚化に対してどの程度効果があるのかといったお尋ねかと思う。今後、整理していく必要があるといった意見として記録いたします。

米原委員

- ・流域対策の雨水貯留タンクの普及は普及率が低い。実質はほとんど利用されていないのが実態ではないか。
- ・自治会や様々な機会を捉えて普及活動やPRを実施すべき。

事務局

タンクの整備はPR活動の実施、助成制度も活用して今後一層進めていくよう改善していきたい。

加藤委員

- ・森林の保全は永久に実施していかなければ保たれないが、そのための費用（予算）が少ない。事務局の説明では◎（達成済み）になっているが、事業量を増やす工夫を考えていただきたい。
- ・予算措置の拡充を入れてもらいたい。

事務局

ご指摘のあった意見について、関係機関と協議していきたい。

糟谷委員

- ・地域の防災意識の向上ということで、出前講座や訓練の手伝いを実施している。様々な団体、主体が様々なところで活動を続けていくことは大切である。引き続き力を入れてやっていただきたい。
- ・活動を通じて大学生と接する機会も多々あるが、大学生で総合治水の考え方について知ってる方はほとんどいない。しかし、総合治水の取組みを説明すると、すぐに理解し賛同してくれる。若い人たちに広く周知していくには、小学校、中学校、高校といった段階で総合治水の知識を与えることができればいいのではと感じている。

大石会長

大学の教養課程に総合治水という備えることについての講義はなく、レクチャーも困難ではないかと思う。様々な機会をとらえて県内の大学や大学に入る前の生徒にどのように教えていくかということを考えていきたい。

米原委員

- ・武庫川の下流部では拡幅工事を何年も前から実施しているが、上流部で幅が狭いまま1～2年くらい残された状態となっている。拡幅するなら国と県でよく相談して実施していただきたい。
- ・拡幅に伴って浚渫も同時に実施していただかないと、年数がたつと元に戻る。
- ・西宮市ではいろいろなハザードマップを公表しているが、住民の方が十分理解して活用できているかどうか疑問である。リーダー研修の実施や行政と住民との話し合いの機会を設ける必要がある。
- ・拡幅に関して、下部は補強されているが、上部は水位が上昇すると水の勢いで削られて溢れるのではないかと思う。上部についても配慮をお願いしたい。

事務局

拡幅については下流から必要な断面を確保する工事を進めている。一部、国との工事ヤードの兼ね合いで残っているところも順次拡幅する。

浚渫については、必要な予算を確保しながら観察を続け、対応していきたい。

堤防補強は、特に越水が懸念される箇所については対応がほぼ完了している状態であり、現地で気になる箇所があれば個別に相談いただきたい。

以上

令和5年度 第1回 阪神西部（武庫川流域圏）・阪神東部（猪名川流域圏）

地域総合治水推進協議会 出席者名簿

(順不同、敬称略)

区分	氏名	所属等	代理人氏名	代理人所属等
学識経験者	大石 哲	神戸大学工学部教授		
国	菊田 一行	近畿地方整備局猪名川河川事務所長	星原 義之	猪名川河川事務所 副所長
	佐伯 亮介	神戸地方気象台長	山田 貴之	神戸地方気象台水害対策気象官
県	大久保 和代	神戸県民センター長	作田 良文	神戸土木事務所長
	木村 晶子	阪神南県民センター長		
	宮口 美範	阪神北県民局長		
	上田 浩嗣	丹波県民局長	鴨川 義宣	丹波土木事務所長
流域圏市町	久元 喜造	神戸市長	瀬川 典康	建設局部長（防災担当）
	松本 眞	尼崎市長	福田 大樹	都市整備局土木部河港課長
	石井 登志郎	西宮市長	川村 雄一朗	都市計画部都市計画課長
	高島 峻輔	芦屋市長	宮本 博嗣	上下水道部下水道課長 【WEB出席】
	藤原 保幸	伊丹市長	武田 好二	市長付参事（危機管理担当） 【WEB出席】
	山崎 晴恵	宝塚市長	江崎 康治	都市安全部生活安全室長
	越田 謙治郎	川西市長	中澤 栄二	土木部 副部長
	田村 克也	三田市長	堀 善和	まちの再生部地域整備室 道路河川課長
	酒井 隆明	丹波篠山市長	小林 克巳	まちづくり部地域整備課長
	岡本 信司	猪名川町長	曾野 光司	まちづくり部長
県民	宇津 尚俊	神戸市北区道場町防災福祉コミュニティ会長		
	米原 正純	鳴尾東コミュニティ協議会 会長		
	天井 裕一	芦屋市自治会連合会長		
	坂上 啓一	伊丹市北村地区自治会長／ 伊丹市緑丘小学校地区自治協議会副会長		
	岡野 多穂	宝塚市自治会連合会 会長		
	有田 和久	三田市区・自治会連合会 理事（西区区長）		
	酒井 和正	丹波篠山市古市地区自治会長会 副会長		
	仲間 享三	猪名川町自治会長連絡協議会会長		
関係団体	藤本 隆司	兵庫六甲農業協同組合（JA兵庫六甲） 常務理事	吉田 顕人	三田営農総合センター マネージャー
	加藤 哲夫	丹波篠山市森林組合代表理事組合長		
	糟谷 昌俊	NPO法人ひょうご地域防災サポート隊 理事長		
	阪元 恵一郎	独立行政法人水資源機構一庫ダム管理所所長 【WEB出席】		

議事録確定署名人

会長：神戸大学 教授

大石 哲

阪神北県民局長

宮口 美範